

科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 26 年 6 月 25 日現在

機関番号：32689

研究種目：若手研究(A)

研究期間：2010～2013

課題番号：22682009

研究課題名(和文) グローバル時代の国籍とパスポートに関する文化人類学的研究

研究課題名(英文) Anthropological Research on Nationality and Passport in the Global Era

研究代表者

陳 天璽 (CHEN, TIENSHI)

早稲田大学・国際教養学院・准教授

研究者番号：40370142

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 6,600,000円、(間接経費) 1,980,000円

研究成果の概要(和文)：この研究は、国籍とパスポートに注目することを通し、こうした法制度が人々の行動やアイデンティティに与えている影響を明らかにすることを試みた。なかでも、特に重国籍の人や無国籍の人々など国籍や法制度の狭間におかれている人々に注目し、彼らのアイデンティティはどのような影響を受けているのか、また越境などの際に、どのような問題に直面しているのかなどについてインタビューを通して明らかにした。本研究の成果は、シンポジウムの報告書として出版されたほか、戸籍・国籍に関する本としても出版しており、またインタビュービデオや収集したパスポートは、国立民族学博物館の常設展示において一般公開している。

研究成果の概要(英文)：This research explore how system of law effects on people's identity by examined nationality and passport. Especially, paying attention to people with multipul nationalities/citizenships or statelessness who are in-between laws or legal limbo. Through interviewed stateless people and people with multiple nationalities/citizenships examined how their identity are effected, and what kind of problem do they faced when they cross national boundaries. This researach result are published as the symposium reserach paper, also as edited book of nationality and family registration system (koseki). Moreover, the interview video and collection of passport and identification card are exhibited in the National Museum of Ethnology in Osaka.

研究分野：人文学

科研費の分科・細目：文化人類学・民俗学

キーワード：マイノリティ パスポート 国籍 身分証明書 グローバリゼーション 移動 アイデンティティ 越境

1. 研究開始当初の背景

これまで国籍問題の研究は、アイデンティティ論やマイノリティ研究と絡めた一部の社会学の先行研究『グローバル時代の日本社会と国籍』李洙任・田中宏、明石書店、2007)のほかは、もっぱら法学研究にゆだねられてきた(『家族と国籍』奥田安弘、有斐閣選書、1996年や『外国人の人権と市民権』近藤敦、明石書店、2001)。「人はだれでも国籍がある」ことが前提で議論されることが多く、しかも国籍の問題は国家レベルで論じられることが多かった。しかし、人の移動や意識の多様化に伴い、最高裁違憲判決に伴う国籍法の改正、離婚後300日問題、代理出産、ノーベル賞受賞者の重国籍問題に伴う国民認定など、重国籍や無国籍にまつわる問題が浮上した。こうしたなか、本研究が特に着目する無国籍者から国籍を参照することは、グローバル化した現代の国籍研究に重要な一石を投じることになる。

2. 研究の目的

国籍やパスポートに注目することを通して、こうした国家の制度が人々の行動や意識に与えた影響を明らかにするとともに、人々にとって国籍やパスポートがどんな意味を持っているのかを考察する。特に、一国家の枠組みのみでは捉えきれない人びと—重国籍者や無国籍者—が所有するパスポートから、国家間のズレや歪みを浮き彫りにし、現代社会における人間の安全保障を究明する。

3. 研究の方法

本研究は実際のパスポートを収集・比較検討することを通して、以上の目的を解明した。

パスポートは、人の移動、アイデンティティ、身分証明など、人の存在・生活の根幹をなすものである。しかし、これまでパスポートに着目した研究はあまりされていない。その希少な先行研究の一つである『パスポートの発明—監視、シティズンシップ、国家』(法政大学出版局、2008)において、ジョン・トービーは、パスポートを使って国家が国民を識別し、移動を管理できるようになったことにより、今日の国民国家のあり方が形成された主張している。彼の問題意識はパスポートを通して見た国民国家論にある。一方、本研究は、実際のパスポートに着目することを通して、人々を掌握しようとする国家の側と、自律する個人の側、双方のズレから浮き彫りにされる国民国家論の限界を踏まえ、新たな枠組みによる人間の安全保障はいかに構築されるべきかを問うものである。

4. 研究成果

本研究成果は、研究雑誌論文、学会発表、インタビュー番組作成、博物館における常設展示、さらには大学生・NPO・国連機関との協働によるワークショップ開催という形で一般に公開している。具体的に、『世界における無国籍者の人権と支援—日本の課題 国際シンポジウム報告書』として和文と英文で国立民族学博物館より出版している。また、「無国籍者と無戸籍者」に関する英文論文を David Chapman が編集した本の一章として Routledge より出版している。インタビュー内容及び収集したパスポートや身分証明については、国立民族学博物館の常設展において一般公開している。なお、その他の研究成果については実績報告書を参照されたい。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文](計 4件)

陳天璽「特集「在留カード」導入と無国籍問題を考える 日本における無国籍者の類型」『移民政策研究』5、移民政策学会編、2013年5月10日、pp4-21.

CHEN Tien-shi, "Open Education Space: Multi-strata Class Inclusion in Japan's Chinese Schools," Edited by Nanami Suzuki, *The Anthropology of Care and Education for Life*, Senri Ethnological Studies 87, National Museum of Ethnology, March 2014, pp.111-128.

陳天璽「華人社会から日中関係を見る—求められる視点」『政策研究報告 Views on China 中国の今、プロが見る I 「現代中国」プロジェクトWEB論考集』、東京財団、2013年6月24日、pp21—25.

陳天璽「新たな“移民潮(ブーム)”—投資で勢力を拡大する新・新華僑」『政策研究報告 Views on China 中国の今、プロが見る I 「現代中国」プロジェクトWEB論考集』、東京財団、2013年8月29日、pp61—65.

[学会発表](計 5件)

陳天璽「研究と生活の関係—自分の暮らし、研究、社会实践を人類学する（代読を依頼）」『文化人類学会』2013年6月8日、慶應義塾大学。

CHEN Tien-shi, “What is Statelessness?” Round Table: *Mobilizing to Include Issues of Statelessness in Discussions about Protection*, Asia-Pacific Symposium, APRRN, JICA Tokyo, September 8, 2013.

CHEN Tien-shi, “Identification and Nationality of Overseas Chinese: The Cases of Overseas Chinese in Korea and Japan,” in panel organized by Qian Jiang: *Diversities and Similarities of Chinese Overseas Society: A Comparative Perspective*, ISSCO8, Universiti Tunku Abdul Rahman (UTAR), Malaysia, August 18, 2013.

陳天璽「日本横浜中華街的形成及其変遷」、閩南文化國際學術研討會：東亞、國家與閩南地方：閩南文化研究之深化、台湾：金門大学 2013年、10月27日。

陳天璽「中華学校の変容と華僑華人研究への問い」、華僑華人学会設立10周年記念シンポジウム華僑華人研究の回顧と展望、華僑華人学会、慶應義塾大学、2013年11月16日。

陳天璽「虹のメタファー再考 華僑華人と多文化共生」東アジア共生プロジェクト国際シンポジウム 東アジアにおける人の移動と多文化共生：身分証明に着目して、長崎大学、2014年2月9日。

〔図書〕(計 2件)

CHEN Tien-shi(Lara) “Officially invisible: the stateless (mukokusekisha) and the unregistered (mukosekisha)”, Edited by David Chapman

and Karl Jakob Krogness, *Japan's household registration system and citizenship-Koseki, identification and documentation*, London: Routledge Taylor & Francis, 2014, pp.221-238.

陳天璽編『世界における無国籍者の人権と支援—日本の課題—国際シンポジウム報告書』国立民族学博物館研究報告書、2014年3月31日、pp1 - 115. CHEN Tien-shi (ed.) *Human Rights and Support for Stateless People around the World: Japan's Role International Academic Conference Report*, Senri Ethnological Reports 118, National Museum of Ethnology, 2014, pp119-229.

〔産業財産権〕
○出願状況(計 件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
出願年月日：
国内外の別：

○取得状況(計 件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
取得年月日：
国内外の別：

〔その他〕
ホームページ等

6. 研究組織
(1)研究代表者
陳天璽 (チェン ティエンシ)

研究者番号：40370142

(2)研究分担者
()

研究者番号：

(3)連携研究者 ()

研究者番号：